



## 詳述倫理 新訂版

横浜国立大学名誉教授  
矢内 光一

### 教科書の特長と改訂のポイント

『詳述倫理 新訂版』は、改訂前の『詳述倫理』を受け継いで、次のような基本的な方針にもとづいています。

- I. 思想史を踏まえた形をとる（学ぶ側にも教える側にも使いやすくするという配慮です）。
- II. 指導要領の趣旨に沿って個々の箇所が人生観・倫理観・世界観という学習の基本的な観点のどれに当たるかを明確にし、そのうえで、諸テーマ（「愛」・「善」・「真理」など）に焦点を当て、源流から近現代までの思想を横断的にも把握しうるようにする。

これは思想史学習とテーマ学習を両立させようとするものです。『詳述倫理 新訂版』では、従来の『詳述倫理』を踏まえながら、種々の工夫を凝らし、

1. 入試に対応できる
2. 思想史学習とテーマ学習を両立できる
3. 生徒の主体的・対話的な学びを促す

という基本的性格をより明確にさせました。充実させた具体的な諸点は以下の通りです。

### 1. 「公共・倫理」に対応できる事項・教材を充実させた

- (A) 認知の心理学をより詳しく解説しました。
- (B) 西洋近現代思想を充実させました。  
オースティン、ポパー、フーコー「生権力」、ラカン「ファルス」、ドゥルーズ「欲望する機械、リゾーム」
- (C) 日本の哲学者・思想家を充実させました。  
西田幾多郎「無の場所、絶対矛盾的自己同一」、田辺元、三木清  
（これら (A) (B) (C) は共通テストを念頭に置いたことでもあります）

### 2. テーマ学習用の特集である「Theme」を質・量ともに充実させた（各章末）

- (A) 各「Theme」の冒頭に具体的事象を挙げ、抽象的思想を身近な事柄や生徒自身の課題と関連づけながら学習に取り組みうるように配慮しました。

AIは愛の感情をもつ？ (p.76), 「嘘」にどう向き合うべきか (p.138), 沈みゆく島, ツバル (p.194)

- (B) 各「Theme」を見開き構成にし、思想史で学んだことをテーマの観点から比較・整理できるようにしました。
- (C) 各「Theme」に、①本文要約、②自分の考えの論述（「TRY ①, TRY ②」）を置き、小論文対策として活用できるようにしました。

### 3. 生徒の主体的・対話的な学びを促す内容や問いを充実させた（第5章、第6章など）

- (A) 導入として新たに「Introduction」を設け、現実社会の倫理的課題を通じて当該単元の主題を把握できるように配慮しました。

アニマルウェルフェア (p.206), AI技術と人間 (p.211)

- (B) 「Opinion」や「TRY」などでは、公共の学習内容 (p.215) や思想史的分野で学んだ知識 (p.219) を活用して倫理的課題を考察する問いを設けました。これは、主体的・対話的な学習を行い、思考力・判断力・表現力を育成できるようにという配慮にもとづいています。

- (C) 従来同様に哲学対話のページを設けましたが（後見返4 Study Skills 3）、例示したテーマを用いてテーマ学習を深めることができます。

### さいごに

『新訂版』ではこのように、入試対応、思想史学習とテーマ学習の両立、主体的・対話的な学びの促進を充実させました。特に、生徒が自身で考える主体的・対話的な学びは、広く生徒の精神的発達に大きな意味をもつと考え、その学びの充実に努めました。